



安全とおいしいきれいな水道水

6月1日～7日は「全国水道週間」です

皆さんが毎日何気なく使っている水道。市では、生活するうえで欠かすことのできない大切な資源である「水」を安定して供給するために水道事業を進めています。6月1日から7日までは全国水道週間です。皆さんもこの機会に水道についても一度見直してみませんか。

安全でおいしい水を皆さんのもとへ

市では、皆さんに安全でおいしい水を供給できるよう、毎年水質の検査を行うとともに、水源や浄水施設の整備を計画的に進めています。

下記の表は、本庄市の水道水の水質データを表したものです。さらに詳しいデータについては、全国水道水質データベースのホームページをご覧ください。

(<http://www.jmwa.or.jp/mizu>)

安定した給水のために

市の水源は、ほとんどが地下水です。今はまだ豊富な地下水も、将来不足するかも恐れられませんし、くみ上げを行うことによる地盤沈下のおそれもあります。そのため、現在では、従来の地下水の利用に加えて、県営水道（利根川の水を浄水場で浄化し、各市町村に送水する方法）を利用して安定した給水の確保に努めています。

主な検査項目の結果（平成17年度）

検査項目	水質の基準	検査結果	
		旧本庄市地域の水道水	旧児玉町地域の水道水
大腸菌	検出されないこと	不検出	不検出
フッ素	0.8 mg / 以下	0.08mg / 未満	0.09mg / 程度
ナトリウム	200 mg / 以下	19.0mg / 程度	14.1mg / 程度
硬度（カルシウムなど）	300 mg / 以下	173mg / 程度	102.7mg / 程度
pH値	5.8以上8.6以下	7.3 程度	7.2 程度
残留塩素（消毒効果）	0.1 mg / 以上	0.45mg / 程度	0.50mg / 程度

検査結果の値は、旧本庄市地域については、4か所の給水栓で年1回行った検査の平均値、旧児玉町地域については、2か所の給水栓で年4回行った検査の平均値です。

水道ワンポイントアドバイス

限りある資源として節水を

水道水は、蛇口をひねればすぐに出てきますが、元は雨として降ったものを地下や河川などからくみ上げて利用しています。

使う水の量が少なければ、くみ上げる量も減りますので、水源の不足や地盤沈下の不安も減少します。

毎日の生活に工夫をして節水にご協力ください。

【たとえば】

- ・お風呂の残り湯を洗たくや植木の水やりに利用する
- ・洗たく物はまとめて洗う
- （このとき、注水すぎではなく、ためすぎにする）
- ・とより有効）

このほかにも、節水のためにできることはたくさんあります。

まずは、できることから実行を！



いつもより

水道使用量が多い

……そんなときは

どこかで漏水をしている疑いがあります。メーター器には、ふちが赤く銀色をした「パイロット」がついています。水道を使っていないのに「パイロット」が回っていたらどこかで漏水していることを表しています。



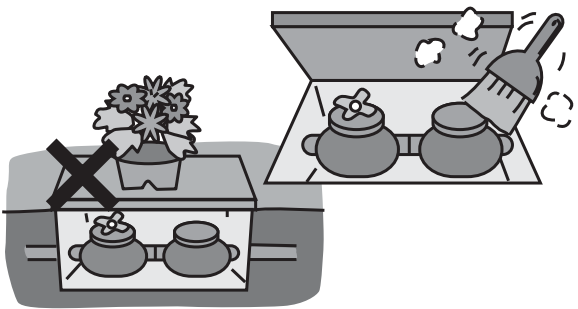
「パイロット」ここで漏水がわかります

漏水を発見した時にはすぐに、市が指定している工事に修理の依頼（有料）をしてください。また、メーター検針時に検針の担当者が漏水を発見した場合は、お知らせしています。

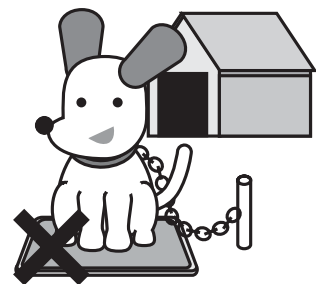
メーターの検針にご協力を！

市では、水道料金を算出するために、メーターの検針を行っています。検針時にメーター器やボックス等の破損、漏水の疑いのある場合には、お知らせの文書を配布していますので、確認のうえで対応してください。メーターは、建物や水道管の関係でさまざまなところに設置してあります。検針がスムーズに行えるよう次のことに注意してください。

メーターボックスの中はいつもきれいにしておき、上には荷物などを置かない



愛犬は、メーターボックスから離れたところにつなぐ



建物の増改築などでメーターボックスが床下や屋内になつてしまう場合は、あらかじめ検針しやすい場所にメーターボックスを移設してください。（移設にかかる費用は自己負担となります。）

メーターの取り替えについて

水道メーターは法律によって、8年以内に取り替えることになっています。水道メーターの取り替えは、市から委託を受けた本庄市管工事業協同組合または児玉町管工事業協同組合が実施します。

*水道についてのお問い合わせは左記まで

水道課 2151
 児玉水道課 姪13331
 （内線381、382）